

はたらく意味・仕事の意味



どんな職業であっても、仕事には以下の3つの意味があると言われます。仕事の意味が「収入を得ること」しか頭になかった、なんてことのないように注意して下さい。「自分の収入や待遇しか頭がない人」は、誰からも一番嫌われます。

●仕事の3つの意味

I 生活を維持する

一番わかりやすいでしょう。生存には食料・住居・衣服が必要で、お金がないと手に入りません。病気やケガなどで不可能な人や、まだ子どもの人、不労所得だけで生活できる人以外は、**生存のための収入を得るために労働をしなければならず、またそれが憲法上も義務とされています**（勤労の義務：日本国民の三大義務の一つ）。

職業や会社や役職により、収入に差があるのは良く知られています。少しでも良い収入を得たいというのは共通の感情でしょう。しかし一般的に収入の高い仕事に就くには多大な努力を要します。また収入には「がまん料」「技術料」という意味合いがあるため、収入の高い仕事ほどストレスが大きかったり非常に難しかったりします。いずれにせよ、生活に直結するため、職業への関心の多くが「収入」に向かうのもやむを得ないかもしれません。

II 他人と社会に貢献する

とはいえ、あらゆる職業には「お客さん」が存在します。サービス・販売はもちろん、製造業では製品を買ってくれる人や会社が、事務職は社内の人たちと受付を訪れる来客がお客さんです。自分のためだけにしていることは仮にお金を得られても職業とは言いません。**あらゆる職業は誠心誠意他人のために働くことで給与をいただく資格を得るものです。そのために「奉仕の心」「ものづくりの心」など、お客さんの相手をするための「心」が必要になります。**そして、きちんと勤めてお客さんの役に立つことで、結局は他人がたくさん集まったものである「社会」の役に立ったことになり、社会的に認められ、世の中に受け入れてもらえます。

これは古い言い方だと「世間様に認められ」「お天道様の下を大手を振って歩ける」ということになります。

III 成長と自己実現を遂げる

では、仕事は収入を得る以外は**完全に他人のためだけに行うのでしょうか。そんなことはありません。**どんな仕事でも続けていくと能力が高まります。そして上司やお客さんに（叱られることもあるでしょうが）認められることが出てきます。**これによりだんだん自信が付きま**す。また仕事に見通しが持てるようになると、**背負える責任や苦勞・判断力が増したり**し、古い言い方だと人間の器（うつわ）が大きくなり、簡単に言うと「大人」になります。これが**職業による「成長」**です。

うまくいけば、「こんな〇〇（技術者・美容師・保育士など）になりたかった」という自分になれるかも知れません。「**自己実現**」です。こうなると、①収入を得て②他人の役に立ち③自分も満足する、という理想的な状態となります。どんな職業でも目指して欲しいし、その価値はあります。

●「労働」と「仕事」と「天職」：はたらくことを表す3つのことば

どれも「働くこと」を表す言葉ですが、意味合いが微妙に違います。

「**労働**」は「苦勞して働く」という意味で、「収入を得るためにいやいややる（やらされる）仕事」という感じがあります。「**勞**」には疲れや病気という意味もあるそうです（疲勞・過勞・心勞など）。

「**仕事**」は「すべきこと」という意味で、義務を自覚し、積極的に成果を出そうと働くという意味合いがあります。また通常は「職業」という意味で使われる言葉ですね。

「**天職**」は「天から授けられた仕事」という意味で、「（自分の気質・能力は他の職業には向かないと**考え**）満足して従事している職業」となります。「他は考えられない」という感じがありますね。

同じ職業でも、Iの収入だけを目的にすると「労働」となり、IIのように「お客さんのために」という使命感を持つと「仕事」となり、IIIのように自分もハマって満足すれば「天職」となりそうですね。どれが一番幸せで前向きかは明らかでしょう。



●仕事についてのお言葉

「好きなことを職業にするのではなく、就いた仕事を好きになって欲しい」（ある企業の方）

「仕事を楽しみならば、人生は楽園だ。仕事が義務ならば、人生は地獄だ」（ゴーリキー ロシアの作家）

「一生の仕事を見出した人には、ほかの幸福を探す必要はない。」（カーライル イギリスの思想家）



ワークシート

<基本>

①仕事の3つの意味について、下の表にまとめましょう。

仕事の3つの意味	I ()	II ()	III ()
それぞれの意味の内容	- 自分の()のために収入を得る - 収入には() () とい う意味合いがある	- あらゆる職業には「 () (尽くすべき他人) が存在する - きちんと勤めると、() の役に立ったことになり、世の中に受け入れられる	- 仕事を続けると能力が高まり、() がつく - 背負える責任や苦労・判断力が増す 「こんな〇〇になりたかった」というなりたい自分になれる(かも)
「労働」「仕事」「天職」のうち、関連の深いことば			
働く理由 ・あなたの働く理由で該当するものにチェックしましょう。	☐ 生活するための収入を得たい ☐ 目的実現のための資金を得たい ☐ 精神的に豊かな生活を送りたい ☐ 家業を助けたい ☐ 経済的に親から独立したい ☐ 高齢になっても困らない生活をしたい ☐ 安定した生活をしたい ☐ 家族を安心させたい	☐ 社会に奉仕したい ☐ 社会の一員として義務を果たしたい ☐ 一人前の人間として認められたい ☐ 人の役に立ちたい ☐ 住みよい社会作りに貢献したい ☐ 他人に感謝されたい ☐ 社会的に有用な人物であると評価されたい ☐ 困っている人たちを助けたい	☐ 地位や名誉を得たい ☐ 将来、有名になりたい ☐ 今まで学べなかったことを体験したい ☐ 資格や免許を得たい ☐ 自分の能力を生かしたい ☐ これまで身に付けたことを生かしたい ☐ 1つのことに打ち込みたい ☐ 仕事で成功したい

<発展>

②「好きなことを職業にするのではなく、就いた仕事を好きになって欲しい」と言った企業の方は、どうのことを考えてそう言ったのでしょうか。あなたなりに想像してまとめてみましょう。

③ゴーリキー・カーライルのことばのうち、気に入ったものを選び、②と同様、どうのことを考えてそう言ったのか。あなたなりに想像してまとめてみましょう。

実施日

検印